

令和 5 年度第 1 回まちづくりん部会の協議報告について

1 実施日

令和 5 年 8 月 23 日（水）

2 令和 5 年度のまちづくりコーディネーターの活動状況について

ア 活動報告（8 月 23 日時点）

《令和 5 年度実績 4 件》

派遣 依頼元	派遣内容	人数	出動 回数
自治会	住民会議のファシリテーション（重原）	3	1
	小山自治会勉強会のファシリテーション	3	1
市	まちづくり講座・学習編（市民協働課）	5	1
その他 団体	実行委員会のファシリテーション（ワールドスマイルガーデンソーツ木）	1	1
合計		12	4

イ まちコゼミ

内容	実施回数	累計参加人数
大野ゼミ（地域の課題を解決する手法を学ぶ）	4	31
塚本ゼミ（まちコ各々の活動経験の共有・振り返りを通して学びあう）	3	20

ウ まちコ交流会

【第 1 回】

日 時：令和 5 年 9 月 16 日（土） 15：00～17：00

場 所：刈谷市民ボランティア活動センター

参加者数：25 名

内 容：まちコミニ講座「マンダラート+Todo リストの活用」

まちコカフェ体験会

交流会初の試みとして、まちコ以外の一般市民の方にも広く広報をした。結果、地区等から多くの参加があり、大いに盛り上がった。

【第2回】

日 程：令和6年2～3月頃開催予定

内 容：まちコ活動収穫祭

エ つなぎの学び舎

今年度は7月～2月の全7回講座。受講生は13名

3 共存・協働による地域活動の活性化に向けた検討 【資料1－2参照】

4 その他

(1) まちコカフェ倶楽部発足について

8月15日(火)刈谷市民ボランティア活動センターにて、「まちコカフェ倶楽部」としてまちコが団体登録をした。今後ボラセンにて「まちコカフェ」を運営予定。

※まちコカフェ…市民団体や地区の方等と、お茶を飲みながら気楽にお話をし、その中で困りごとや相談事が出てきたらまちコが話を聞くというもの。

【部会の協議方針】

- ・地域活動の活性化に向けて、共存・協働によって、今後、各自治会等で取り組まれていくとよいことについて検討する。
- ・元気な地域活動交付金やまちづくりコーディネーター（まちコ）派遣を通して、課題が具体的になっている地域をモデルに、取組みを考える。

部会に提出した参考資料	部会の協議での主な意見	取組みについての方針
<p><小山地区> 6,600 世帯／自治会加入率 60.1% 元気交付金採択実績有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌発行による地域活動の顕在化 ・盆踊り・歩け歩け大会等の既存事業の魅力アップの取組み ・役員のなり手不足の課題認識 <p><重原地区> 2,324 世帯／自治会加入率 69.6% 2023 年度元気交付金に申請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の自主活動について、①楽しく継続する、②グループ活動の運営、を課題として話し合った <p><高須地区> 1,291 世帯／自治体加入率 99.7% 元気交付金採択実績有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体「高須のがっこう」に自治会が委託し、若手による地域活性化 ・事業毎に「子育て世代」「中高生」「一般」ボランティアを募って住民参加を促進 	<p>① 自治会加入についての声のかけ方の工夫を集めたり、その際に用いることのできる説明ツールを作成してはどうか （参考：千葉県柏市の町内会加入促進パンフレット）</p> <p>② 既存の地縁型組織に加入する形にこだわらず、ゆるやかなつながりの有無を可視化することで、人々の孤立を防ぐ取組みを行ってはどうか</p> <p>→同じ自治会でも地区により住民同士の関係の状況は異なる。地区等の小さな単位や、インフォーマルな集まりの場でヒアリングを行う等でつながりを把握してはどうか。 （参考；高浜市の「健康自生地」）</p> <p>③ あいさつをしてつながりをつくる、というようなシンプルで行動に落としやすい取組みを促進してはどうか</p> <p>→自治会役員等が主体的にできる内容が望ましい。役員が異動しても継続するよう、小学校等と共に取組めるとよい。</p>	<p>○モデル自治会を決めて、具体的に調べたり、実験的取組みを行う</p> <p>○地区や地域の小さな集まり等の現場に出かけて、つながりづくりについての実態や、今後に役立つ情報を集める</p> <p>○地域の役員・住民が主体的にやりたいと思える取組みに焦点を当てる</p> <p>○まちづくりコーディネーターは、ヒアリング等の影で支える役を担い、地域の手柄・成果を生み出すようにする</p>

令和 5 年度第 1 回夢ファンド部会の協議報告について

1 実施日

令和 5 年 6 月 2 6 日（月）

2 これまでの実施事業および寄附金実績について

(1) 実施事業について

「まちづくり活動支援事業」のうち、特徴的な活動についてスライド資料をもとに紹介した。

(2) 寄附金について

いただいた寄附に対し、マッチングギフト方式により市も同額を積み立てるため、倍の金額が基金に積み上げられる。昨年度よりふるさと納税による寄附が増えており、例年に比べ寄附額が増える見込みである。

(3) 部会での主な意見

将来にわたり寄附金収入が見込めて予算が確保できるのであれば、補助金額を増やしたり、補助率を上げたりすることも検討できるとよい。

3 令和 5 年度募集要項について

(1) 内容

まちづくり活動支援事業補助金について、「5 万円以下の申請書類の簡素化」を提案した。

その理由は、平成 3 0 年度に実施したアンケートから、申請書の簡素化を望んでいる団体が多くあること、また、記入に際し、検討を要する項目について心理的・時間的負担が大きいことが推察されたことからである。

そうしたことから、事業計画書の様式を変更することで、申請のハードルを下げる効果を狙う反面、簡素化に伴い、審査に必要となる確認項目（団体概要：活動内容・活動実績の必要性の有無）と、記述を要する量について意見を頂戴したい。

(2) 部会での主な意見

【団体側】

- ・書類としては簡単な方がよい。
- ・活動内容は、事務的に記述が可能なため負担ではない。
- ・窓口での相談対応時にブレインストーミングの相手役になることで、団体が考えをまとめる手助けになる。

【審査側】

- ・活動内容は、別途提出される規約で確認できるため無くてもよい。
- ・活動実績は、NPO 法人は県に提出しているため分かるが、任意団体はそうした書類がないため出してもらおうとよい。

→事務的に記述が可能な団体概要は残し、2 ページの事業計画書にて決定。

また、窓口では申請相談を丁寧に行い、考えをまとめるサポートをする。

4 かりや夢ファンド補助金採択事業の活動状況に関するアンケートについて

(1) 目的・調査対象・スケジュール

事業実施後の活動状況の把握と、事業の継続・発展に必要な支援の検討を目的とする。対象は、まちづくり活動支援事業 21 事業、NPO 法人設立支援事業 8 事業。8 月に調査票を発送し、9 月を提出締切とした。

(2) アンケート様式 (資料 2-2 参照)

(3) 部会での主な意見

補助金交付は 2 回までだが、その後も事業が続いているのであれば夢ファンドは意義があったことが確認できる。逆に継続できなかったというケースでは、その理由や団体が自立できるためにどのような支援ができるとよいのかを考える必要がある。交付の仕方や支援の仕方でも工夫ができればよい。

アンケート実施後に、一部団体にヒアリングをすることでヒントが得られるかもしれない。また、募集要項にもアンケートに協力してほしい旨を記載しておくが良い。

かりや夢ファンド補助金採択事業の活動状況についてのアンケート

団体名	《団体名》
事業名	《事業名》

1. 「かりや夢ファンド補助金」を受けた事業の状況について

(1) かりや夢ファンド補助金の情報はどのように知りましたか(☑は複数可)。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 市ホームページ | <input type="checkbox"/> 市 twitter |
| <input type="checkbox"/> 市民だより | <input type="checkbox"/> 新聞記事 |
| <input type="checkbox"/> 募集要項・ちらし(どこで:) | <input type="checkbox"/> 市民ボランティア活動センター・メルマガ |
| <input type="checkbox"/> 市民ボランティア活動センター窓口の紹介 | <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 |
| <input type="checkbox"/> かりや衣浦つながるネット | <input type="checkbox"/> その他() |

(2) かりや夢ファンドを活用してよかったことはありましたか(☑は複数可)。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 団体や活動の認知度が上がった | <input type="checkbox"/> 協働相手との連携が深まった |
| <input type="checkbox"/> 活動の担い手の力量が上がった | <input type="checkbox"/> 新しい事業を形づくることができた |
| <input type="checkbox"/> 活動の担い手や協力者が増えた | <input type="checkbox"/> 財政の基盤ができた |
| <input type="checkbox"/> 他の助成金がとれるようになった | <input type="checkbox"/> その他() |

(具体的に)

(3) 「かりや夢ファンド補助金」を受けて実施した事業は、現在どのようになっていますか(最も当てはまるもの一つに☑)。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ア) 基本的にそのまま継続している | <input type="checkbox"/> エ) 休止・中止している(活動期間:) |
| <input type="checkbox"/> イ) より発展した形で実施している | <input type="checkbox"/> オ) 停止・終了した(活動期間:) |
| <input type="checkbox"/> ウ) 縮小したが継続している | <input type="checkbox"/> カ) その他() |

→(4) (3)で、ア)イ)ウ)のいずれかと回答した方のみ、お答えください。

1) 具体的な状況をお聞かせください。

2) その事業に必要な資金をどのように確保していますか(当てはまるもの全てに☑)。

- | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 会費・寄附 | <input type="checkbox"/> 助成金・補助金 | <input type="checkbox"/> 事業収益(参加費・利用料) |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

裏面(6)へ進んでください。 →

(5) (3)で、エ)オ)カ)のいずれかと回答した方のみ、お答えください。

1) 理由として当てはまるもの全てに○をつけてください。最も大きなものに◎をつけてください。

<input type="checkbox"/>	事業に必要な資金が集まらなかった	<input type="checkbox"/>	事業に必要な担い手が集まらなかった
<input type="checkbox"/>	事業に必要な物品や資材が集まらなかった	<input type="checkbox"/>	事業が計画どおりに進められなかった
<input type="checkbox"/>	参加者への呼びかけ・PRができなかった	<input type="checkbox"/>	他団体等の協力を得られなかった
<input type="checkbox"/>	他の事業に力をいれることにした	<input type="checkbox"/>	事業の目的・ねらいを達成した
<input type="checkbox"/>	事業のニーズが変わった・なくなった	<input type="checkbox"/>	その他()

(具体的に)

2) 今後、事業を再開・実施したい意向はありますか(当てはまるもの一つに☑)。

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 意向はある | <input type="checkbox"/> 意向はない | <input type="checkbox"/> 考え中・どちらとも言えない |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

裏面(6)へ進んでください。 →

かりや夢ファンド補助金事業の活動状況についての調査結果（抜粋版）

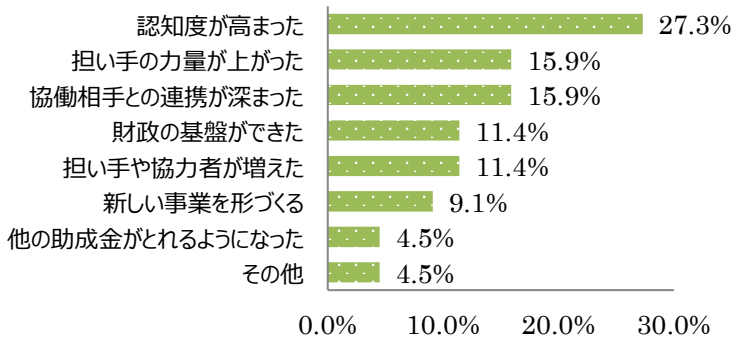
※第1回推進委員会にてご意見をいただいた〔補助金制度に関する〕項目を抜粋して、報告します。詳細は、ファンド部会において報告・協議します。

1 2つの対象に分けてアンケート調査をしました。8/9～9/8

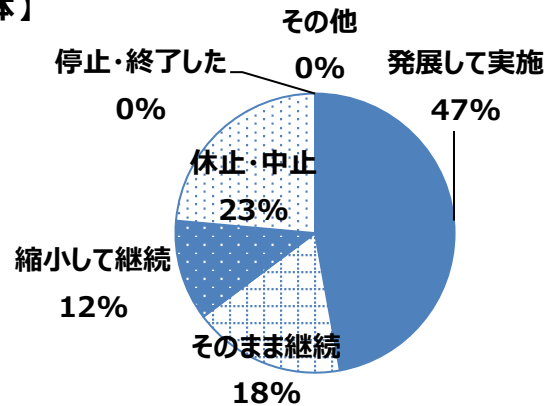
A：NPO法人設立支援実施事業 [H24～H31]	送付数=8	回収=3	回収率 37.5%
B：まちづくり活動支援実施事業 [H29～R3]	送付数=21	回収=14	回収率 66.7%

2 調査結果（以下、A+B=全体の集計）

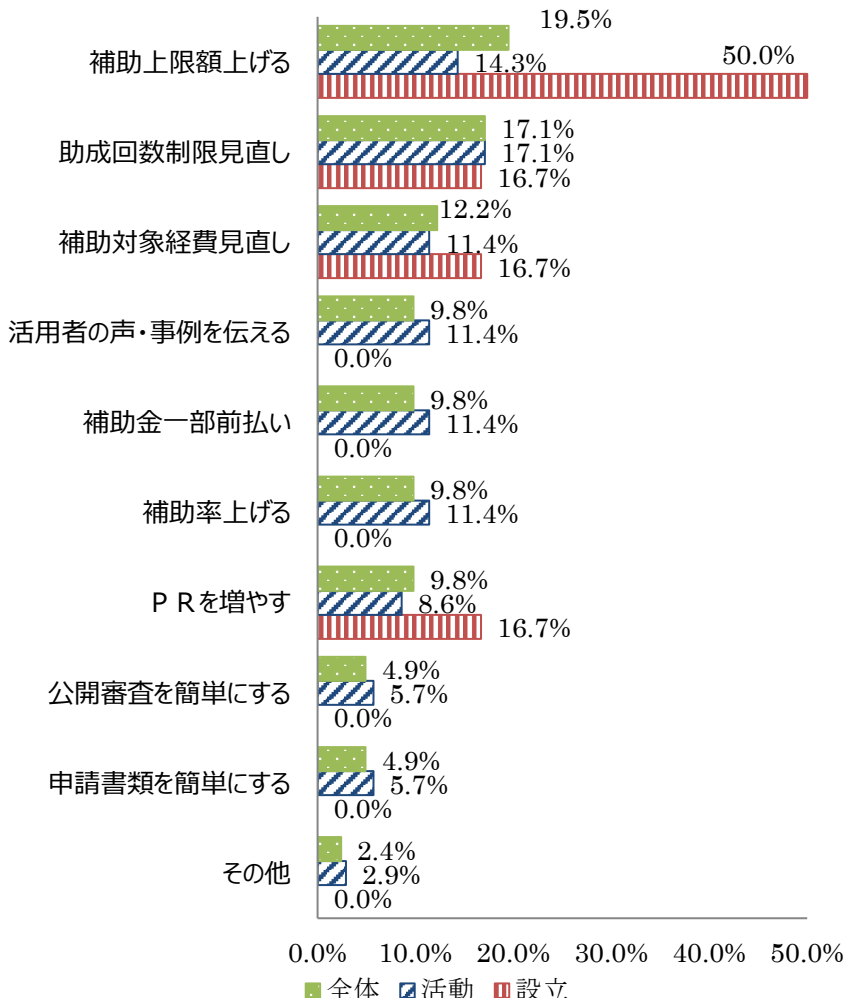
A-2 補助金を活用してよかったこと【全体】



A-3 実施した事業の現在の状況【全体】



A-7 活用しやすくするために希望する項目



●まとめ

- 1) かりや夢ファンド補助金の活用により、活動・団体の「認知度を高める」効果が実感されている。また、「担い手の力量が上がった」「協働相手との連携が深まった」といった人的な資源が豊かになったという効果も確認できた。(A-2)
- 2) 補助した事業については、その後も「発展して実施」されている割合が47%と最も多く、そのまま継続と合わせると計65%、縮小して継続12%と合わせると活動継続率は77%にのぼっており、4分の3は継続している。(A-3)
※但し、NPO法人設立支援採択団体のうち、2団体が解散している。
- 3) 活用しやすくするための希望としては、「補助上限額を上げる」「助成回数制限見直し」「補助対象経費見直し」のニーズが高い。(A-7)

令和 5 年度 市民協働事業の進捗状況について

	事業名	概要	実施内容
1	共存・協働のまちづくり講座 (学習編)	共存・協働のまちづくりを進めていくため、市民と行政が協働を進めていく上での考え方と、行政の対応の仕方について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：入庁 3 年目の職員等 30 人 ・大野裕史氏に、「協働するとはなにか」について市職員の立場や役割を鑑みながら講義をしていただいた後、市職員より「共存・協働心得帳」について説明した。 ・地域づくりコーディネートゲームを使用し、限られた資源や条件をつかって、どうやって目的に対して物事をコーディネートしていくかを考えるグループワークをした。
2	かりや衣浦つながるネット	刈谷市、知立市、高浜市、東浦町間の市民活動情報サイトで、イベントや団体に関する情報の閲覧、参加者やボランティアの募集・申込等ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・かりや衣浦つながるネット及びボランティア活動施設の周知を図るため、10、11月の2ヶ月間に渡り、スタンプラリーを開催する。 ・刈谷市、知立市、高浜市、東浦町のボランティア活動施設にて、来館者に「かりや衣浦つながるネット」を紹介するとともに、2施設以上訪れてスタンプを押した方には各センターで景品をお渡しする。
3	協働のまつり場	市の施策に関して、市民・地域団体・市民活動団体等と行政が意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度に全庁を対象に行ったアンケート（市民協働診断）の結果をもとに、公園緑地課の「公園管理事業（公園等愛護会）」を選定。 ・10月末より関係各所との打合せを始め、12月開催予定。

4	わがまちのしゃべり場	市民同士の対話を通して、地域や活動における課題を参加者自らが気づき、自らが解決するためのきっかけを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月19日（日）に市民ボランティア活動センター事業「まなぼうさい（防災に関する体験型の展示）」とのコラボ実施を予定。 ・ ブース出展の1つとして「しゃべり場」コーナーを設けることで様々な人の参加を促すとともに、「まなぼうさい」での学びや気づきから、参加者が日頃の思いを口に出すきっかけを提供する。 ・ 9月8日（金）に第1回打合せを実施、10月30日（月）第2回打合せを実施予定。
5	わがまちのつむぎ場	市民活動団体の活動支援の一環として、また市民同士の交流・協働の場として、新たな仲間との「つながり」をつくり、個々のまちづくりのネットワークを広げる場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月3日（日）に約20団体が参加し、市民ボランティア活動センターにて開催予定。 ・ 刈谷市内23地区の地区紹介パネルを設置予定。 ・ パネル作成に係る地区取材に、5名のまちコが協力し、10月11日（水）から取材を開始し、それを基にパネル作成まで行う。パネルは12月24日（日）まで市民交流センターの1階玄関ホールに展示予定。